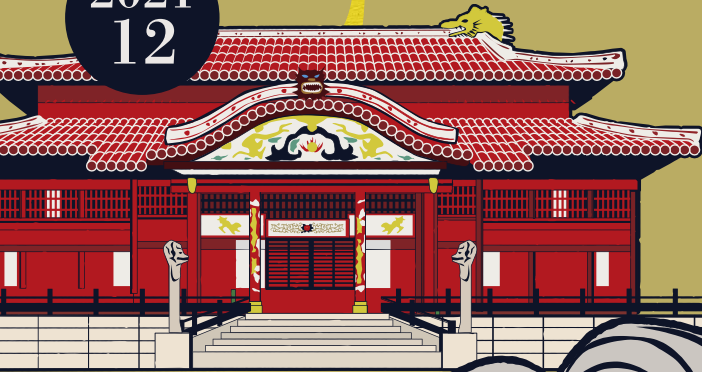


UGUSHIKUDAYORI

御城大より

2021
12



新春の宴



- ◆ 呈茶サービス(琉球菓子の背景)
- ◆ 首里城公園で地域とつながる
- ◆ 首里城でMICE!!
- ◆ 復興進捗状況(被災した美術工芸品の修理)

新しい見学デッキ
首里城の復興と首里・那覇の眺望

新しい見学デッキ

首里城の復興と首里・那覇の眺望

見学デッキより臨む復興



首里城公園有料区域に新しい見学デッキと解説板が完成し、令和3年10月27日(水)より供用を開始しました。正殿前広場である御庭にて木材倉庫・原寸場を整備するにあたり、来園者用通路を切り換えるため新たな見学デッキを設置しました。通路沿いのフェンスには、在りし日の首里城正殿とその施工過程や火災直後の状況をグラフィック展示で解説・紹介しています。



ここで紹介している工程は、これから再建される正殿の工程とも重なり、正殿が甦っていくプロセスをより具体的にイメージできます。また、フェンスの間には御庭を見ることができる透明な窓があり、復興へ向かう首里城の「今」を見ることができます。

首里や那覇が一望できるビューポイント

奉神門ほうしんもんを抜けて御庭、そして北殿基壇ほくでんきだんの上より正殿付近にかけて、延長139メートルの見学デッキが続きます。このデッキは内郭城壁ないかくじょうへきよりも高く、この城壁北側の縁へりに沿ってはしており、首里や那覇が一望できるビューポイントです。曲線を描く城郭北側の壁面や右掖門うえきもんの屋根を近くに、また彼方には龍潭りゅうたんの首里城側の畔ほとりがはっきりと見えるなど、北殿の建物があつた頃とは違った角度での眺望を楽しむことができます。

「今」しか見ることが出来ない風景をどうぞご覧ください。



新春の宴

うたげ

2022年1月1日(土)～3日(月)

12月31日(金)～1月3日(月)は県民割期間

琉球王国時代、お正月には建物内外を装飾し御座楽が演奏されていました。その中で新年を寿ぎ平穩にぬふあぬうぬふえーを祈念する「子之方御拝」や「朝之御拝」、国王と臣下がお酒を酌み交わす「大通り」等、さまざまな儀式が行われ、一年の中でも最も忙しく、新年を迎える喜びにあふれた日でした。

首里城公園では、皆様と共に新しい年をお祝いする「新春の宴」を開催します。国王・王妃の出御にあわせて正月儀式の一部をご紹介しますほか、御座楽や琉球芸能、新春杜のステージ等、お正月を華やかに彩ります。新年のはじまりをぜひ首里城で迎えてみませんか。



朝拝御規式 映像上映

時間／9:00～17:30

場所／世誇殿

首里城御庭で挙行された華麗なる元日儀礼の再現催事を、高画質大型モニターでお届けします。



琉球芸能の宴

時間／13:00～、14:00～、15:00～、16:00～

場所／下之御庭 系図座・用物座

琉球王国時代に生まれ、現代に伝わる古典音楽や華やかな琉球舞踊。



こども御開門

日時／1月1日(土)～1月2日(月)
8:55～9:00

場所／奉神門

現在、毎朝実施中の「御開門式」を、地域のこども達がお正月に披露!



てい ちゃ 呈茶サービス

首里城公園では、香り高いさんぴん茶とともに王国時代から現代に伝わる代表的な琉球菓子を、有料にてご提供しております。



琉球菓子の背景

およそ450年ものあいだ王国として存続した琉球。中国や日本などアジアの国々との交流を背景に、この地で独特の文化が育まれました。

そのなかでも食文化の一つであるお菓子の歴史について少しだけご紹介しましょう。琉球の政治・外交・文化などの拠点であった首里城および行政の中枢だった首里王府では、「庖丁^{ホーチュー}」と呼ばれる料理人が、国王承認のためにやって来た冊封使^{さっぽうし}のもてなしや年中行事、儀式などのためにお菓子を作りました。

また、日本の江戸時代にあたる頃、那覇に駐在する薩摩役人へもお菓子が振る舞われました。かつて琉球におけるお菓子は、王府の歓待を受ける冊封使節や薩摩役人、王家や上流士族層などの一部の人にしか食べられないものだったのです。

王国が解体されたのち、首里王府の庖丁だった人たちが民間で菓子を作るようになり、庶民の間に広まりました。

首里城公園の呈茶サービスでは、「花ぼうる」「くんぺん」「ちんすこう」「きっぱん」^{とうがんづけ}「冬瓜漬」^{コーグワーン}「糕菓子」などがあり、季節ごとに4種のお菓子をご賞味いただけます。

琉球菓子Pickup!!



とうがんづけ ①冬瓜漬

呈茶サービスの琉球菓子の中から1つのお菓子をご紹介します。今回は冬瓜漬。冬瓜を砂糖で長時間煮詰めて作ります。

冬瓜は夏に収穫し、冬まで保存がきくことからこの名がついたと言われ、「シブイ」の方言名で親しまれる野菜です。鹿児島にあった琉球使者の滞在施設である琉球仮屋^{りゅうきゅうかりや}（後の琉球館）での饗応^{きやうおう}の献立に「砂糖漬冬瓜」が登場しました。

けい ず ざ よう もつ ざ 系図座・用物座

現在、呈茶サービスが提供されているこの場所は、もとは士族の家系図^{けいず ざ}（系図=家譜）の管理や首里王府公式の歴史書を編集する「系図座」と、城内で使う紙や筆などの物品、資材などを管理する「用物座」の2つの役所がありました。

創建年は不明で、明治初期頃に建物が取り壊されたため往時の間取も不明でしたが、古い絵図などにより平成12(2000)年3月に木造外観を復元しました。以後、休憩所などに使用しており、首里城火災後の令和2年6月よりこの場所で呈茶サービスを開始しております。



首里城公園で地域とつながる



首里城への美御水奉納



手作り市 子ども旗頭



手作り市 龍潭ハス乗り体験



フラワーロード事業

首里城公園では、「フラワーロード事業」「^{ムービー}首里城への美御水奉納」「手作り市」など地域と連携した事業を実施・展開しています。

「フラワーロード事業」は住民参加による都市公園の愛護活動、「首里城への美御水奉納」は琉球文化の継承、「手作り市」はコロナ禍における自粛ムードからの賑わい回復や首里の活性化を目的としています。こうした事業を通じて、首里城公園はこれからも地域とつながってまいります。



マイス 首里城でMICE!!

令和3(2021)年11月10日(水)、首里城公園内において「日本臨床脳神経外科学会 会長招宴」(主催:日本臨床脳神経外科学会)が開催されました。首里城公園の利活用として、こうしたMICEを受け入れております。MICEとは、Meeting(会議)、Incentive tour(招待旅行)、ConventionまたはConference(大会・学会・国際会議)、ExhibitionまたはEvent(展示・催事)の4つの頭文字を合わせた観光用語で、ビジネスラベルの一つの形態でもあります。

首里城公園の魅力創造、琉球・沖縄の歴史・文化・芸術等の情報発信、沖縄県の観光振興への寄与に貢献すべく、独自のMICEプランの構築と展開をめざします。

うざがく 御座楽の楽器



御座楽
演奏

2022年1月1日(土)~3日(月)
時間 / ①9:00~、②10:00~、③11:00~
場所 / 下之御庭 系図座・用物座

うざがく しゅり おうふ
御座楽は、首里王府で儀式の際に演奏された音楽で、室内で座して演奏されることから「御座楽」と呼ばれ、行列などで演奏されるものを「路次楽」と呼びました。中国から伝来し明清系の流れを汲む音楽で、1879年の琉球王国崩壊により伝承の場が失われたため一度は途絶えましたが、近年様々な調査研究が行われ、現在では首里城公園内で行われる「新春の宴」などのイベントの際に演奏されています。



ツラナ
哨 唢

チャルメラに形状が似た楽器で演奏には熟練を要し、琉球王国時代は「楽師」などの御座楽奏者が担当した。



ヤウキン
夜 雨 琴

イラン発祥の楽器といわれ、中国を経て琉球へ伝わったと考えられる。竹製などの撥で金属製の弦をたたいて演奏する。



ホンテウ
横 笛

筒は竹製で響穴には薄い笛膜が張られ、吹くことでこの笛膜が振動して独特の音を響かせる。指穴は6穴で、ほぼ等間隔である。



イヤウキン
月 琴

満月のような丸い共鳴胴に首(琴杵)を持ち、絃は4絃で2絃ずつ弾く復絃で演奏する。三線等と同じように左手で弦を押さえ、右手で弦を弾いて演奏する楽器。



首里城公園復興状況 ~被災した美術工芸品の修理~



火災による影響は建物だけではなく、琉球王国時代につくられた漆器や染織品をはじめとする美術工芸品にも及び、400点近くの資料が焼失してしまいました。幸いにも焼失を免れた資料は、熱等による影響が見られ、被災による変化の状態を1点1点確認し、優先順位をつけて修理を進めています。一見、何の被害もないように思えるものでも調べてみると、細かなヒビや装飾が剥がれ落ちそうになっているもの等、何らかの変化が見られます。皆様からお寄せ頂いた首里城基金を活用し、できるだけ資料がつけられた時の状態を保っていけるよう、汚損や傷がこれ以上広がらないように、適切な処置を施して保存につとめています。

首里城通信 御城だよりVol.13 冬号 季刊誌

[発行日]2021年12月24日 [編集・発行]国営沖縄記念公園(首里城地区)、県営首里城公園
指定管理者 一般財団法人 沖縄美ら島財団 <https://oki-park.jp/shurijo/>